

わたしが愛したように

<今月の聖句> 「わたしがあなたがたを愛したように
互いに愛し合いなさい。」(ヨハネ15:12)

ひとりの女の子がしゃがみこんで、しくしく泣いていました。
二人の女の子が通りかかり、「どうしたの」と声をかけましたが
泣いている子は顔もあげません。
二人はどうしてよいか分からず、離れていきました。
しばらくして、別の女の子が近づいてきました。
泣いている子のそばにしゃがんで、
「〇〇ちゃん、どうしたの。どうして泣いてるの」と聞きましたが
やはり下を向いたまま。
すると、その友だちは今度は顔を床につけて、下からのぞき込んで
「〇〇ちゃん、どうしたの」と、なみだ声になって尋ね続けました。
下から見上げつづける友だちとどこかで目があったのでしょうか。
言葉のやりとりはありませんでしたが、その子は泣きやみました。
悲しい原因がなくなったわけではありません。
でも、自分がひとりでないことを知り、顔をあげたのです。
気がつくと、その友だちと手をつなぎ、一緒に遊んでいました。

イエスさまがわたしたちを愛する愛し方も、これと同じです。
一緒にしゃがみこみ、下から見上げて目と目を合わせてくださる。

親と子も、これと同じかもしれません。
子どもがさみしそうにしている、どこか遠くをみつめている
しくしく泣いて、うつむき続けている。そんなときいつも
わたしたちは右往左往し、何かしなければ、言わなければと焦る。
それよりも、一度、一緒に思いっきりしゃがみこんでみませんか。
何も言わなくていい。言葉や行為をおしつけなくていい。
床に顔をつけるようにしてただわが子を見つめ、一緒に悲しんでみる。
親子の目と目はやがて出会い、子どもの心は花のように開くでしょう。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<収穫感謝礼拝へのお誘い>

11月15日(日)午前10時30分 だいが教会
礼拝後、秋色のお庭で一緒に焼き芋大会を楽しみましょう。
(申込は11/11(水)まで(参加100円))